

新潟・前波南遺跡

- 1 所在地 新潟県糸魚川市大和川字前波
- 2 調査期間 一 二〇〇六年(平18) 四月～八月、
二 二〇〇七年四月～八月
- 3 発掘機関 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 4 調査担当者 一 春日真実、二 石川智紀
- 5 遺跡の種類 一 集落跡、二 散布地
- 6 遺跡の年代 縄文時代～近世
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要



(糸魚川)

前波南遺跡は、前川右岸の海岸砂丘と丘陵間の沖積低地に立地し、標高約四m。古墳時代と古代を主体とする溝、ピット、杭、旧流路などを検出した。居住の痕跡は検出できなかったが、古墳時代や古代における低地や河川の利用方法の一端が窺える。

木簡は各年度一点ずつ出土した。二〇〇六年度調査

において、弥生時代から中世にわたって形成された旧流路から一点、二〇〇七年度調査において、溝(SD二)が調査区中央の旧流路と合流する付近から一点、計二点が出土した。

8 木簡の釈文・内容

- 一 二〇〇六年度調査

(1) 「出雲」

(108)×23×2 059

上端は山形で、下端は欠損する。八世紀後半～九世紀の土器とともに出土した。

- 二 二〇〇七年度調査

(1) 「出雲真山」

172×25×3 051

スギ材を板目取りしたもので、長方形の材の左右を削り、下端を鋭角に尖らせる。「出雲真山」は人名か。「出雲」の字体は、福井県越前町田中遺跡出土墨書土器(九世紀前葉)の「出雲」に似る。当木簡も平安時代の所産か。伴出した木材の放射性炭素年代測定の結果からも古代に帰属すると考えられる。

釈読にあたっては、田中一穂氏、島根県立古代出雲歴史博物館の森田喜久男氏のご教示を得た。



二(1) 赤外

卷頭言——『全国木簡出土遺跡・報告書綜覧』刊行に寄せて——小林昌二
二〇〇三年出土の木簡

概要 平坂京跡左京三条三坊十一坊 平坂京跡右京北辺 平坂京跡右京四條二坊二坊 法華寺 日大乗院室圖 藤原京亦 石申貴亦 嵯峨島

京四多二坊二法華寺 旧力乘院廢園 藤原京跡 石杉遺跡 飛鳥寺
南方遺跡 鳥羽遺跡 鳥羽雅宮跡 東畠寺常樂庵車裏 中世券龍寺

城跡 難波宮跡(1) 難波宮跡(2) 大坂城跡 九頭神遺跡 奈良井遺跡

玉櫛遺跡 久宝寺遺跡 兵庫津遺跡 玉津田中遺跡 北村麿寺 有岡
城跡・伊丹郷遺跡 明石城武家屋敷跡 対中遺跡 入佐川遺跡 清

洲城下町遺跡 大毛沖遺跡 土橋遺跡 北条泰時・時頼邸跡 永福寺
亦在力ヶ谷遺跡亦 水戸藩惠山家、石川屋敷亦（春日丁遺跡亦第Ⅲ也）

旗本岩瀬家屋敷跡（新諏訪町遺跡） 竜泉寺町遺跡 台東区

No.68 遺跡 馬場下町遺跡 元町二丁目遺跡 神明遺跡 北島遺跡 (第一九地点) 松本城下町跡六九 松本城下町跡宮村町 華崎寺跡 荒

田目条里制遺構 門田条里制跡 東高久遺跡 荒井猫田遺跡 河股城

跡	仙台城跡（二の丸地区）	竹ノ内遺跡	市川橋遺跡	長徳寺前遺跡
跡	古志田東遺跡	大在家遺跡	山形城跡	新谷地遺跡
跡	龍門寺茶畑			

遺跡 觀音堂遺跡 新田(一)遺跡 津輕氏城跡・弘前城跡 本町一丁目
貴跡 金石本町貴跡 安町貴跡 石名田木舟貴跡 井口成跡 小杉

流通業務団地No.20遺跡
中名Ⅵ遺跡
任海宮田遺跡
願海寺城跡
水

橋金広・中馬場遺跡
米子城跡 21遺跡
米子城跡
才ノ峠遺跡
青木遺跡
鹿田遺跡
尾道

遺跡(KG〇七地点) 周防国府跡 長門国分寺跡 長門国府跡(宮内地区) 徳島城下町跡 観音寺遺跡 教地遺跡 高公城跡(東)

丸ノ内地区
高松城跡(2)
丸ノ内地区
高松城跡(3)
(松平大膳家中

屋敷跡) 雨窪遺跡群 小倉城跡 在自西ノ後遺跡 牟田口遺跡 垆
柏町遺跡 (長崎奉行所立山役所跡) 北島北遺跡

一九七七年以前出土の木簡（二六）

山田寺跡(第五・一二・一二三号) 宮内黒田遺跡(第二一号)

弥勒寺西遺跡（第二五号） 安芸国分寺跡（第二四号）
中央アジア出土のチベット語木簡―その特徴と再利用―

館野和己・武内紹人

木に記された暦―石神遺跡出土具注暦本簡をめぐって―
文字の形と語の識別―「参」の二つの字形―
竹内 亮
桑原祐子

書評 平川南著『古代地方木簡の研究』
新刊紹介 木簡学会編『日本古代木簡集成』
鐘江宏之 氏田口哉

五五〇〇円 送料六〇〇円
